



Windom の解答速報 杏林大学(医) 英語



I

ア	④	イ	③	ウ	③	エ	②	オ	②
カ	④	キ	②	ク	①	ケ	③	コ	①
サ	③	シ	③	ス	④	セ	③	ソ	①
タ	②	チ	④	ツ	①	テ	②	ト	③

II

ア	②	イ	②	ウ	①	エ	③	オ	④
カ	①	キ	④	ク	①	ケ	①	コ	②
サ	①	シ	②	ス	②	セ	②	ソ	①

III

ア	①	イ	②	ウ	④	エ	①	オ	③
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

IV

ア	③	イ	①	ウ	①	エ	③	オ	④
カ	③	キ	③	ク	④	ケ	②	コ	①

【直し方】

ア→instead of

イ→he will

ウ→What

エ→safely

オ→in Shizuoka

カ→notorious scenes

キ→make

ク→another

ケ→nowadays または these days

コ→At

解答者講評

I

分量、レベル共に概ね例年と大差はない。設問の中に若干選びづらいものも見られたので以下にコメントを記す。

英文 1 の(オ)について。本文第 4 段落最終文から③のような心理が教会側に働いたことも推察されるが、より直接的に「法王が謝罪したときには、人は既に月に行っていた。」⇒「謝罪が遅すぎた」⇒「教会はもっと早くガリレオに名誉を与えるべきだった」と読む方が無難であろう。

英文 2 の(サ)について。病歴は通例症状(②の胸の痛み)ではなく③の **angina**(狭心症)であろう。同段落内 4 文前にも **angina** を除外(**rule out**)した旨の記述があり、これも参考になる。

(ト)について。①か③かで迷うが、①は具体的すぎる感があり、やや抽象的なきらいもあるが③の方が無難であろう。

II

大学入試のレベルを越えるものの中には見られるが、全体的には標準レベルか、それを若干上まわるレベルであろう。

(ウ)について。空所には動詞が入るはずで、選択肢には動詞は③ **shape** しかないが、これは意味が通らない。おそらく① **workout**(1 語でつづると「スポーツのトレーニング」の意の名詞になってしまう)が、**work out**(2 語でつづると「トレーニングをする」の意の動詞)の誤植であろう。ちなみに、問題文末の **everyday** も、1 語でつづると「毎日の」の意の形容詞になってしまうので、副詞の「毎日」の意では 2 語で **every day** とつづるべきである。これも誤植であろう。

(ク)は、**cannot see further than [further than のかわりに beyond も有り] the end of one's nose**「目先のことしかわからない」という成句の変形。

(ス)は、**let up** で「(痛みなどが)弱まる。和らぐ」の意の成句。単語のイメージから **let down** を完成させた受験者も少なくないであろうが、これは「気を緩める」の意で、本問では不適。

III

会話は、標準。迷う選択肢はないであろう。

IV

若干選びづらいものもみられる。(イ)について。**no doubt** は、文修飾の副詞であり、S V の倒置を引き起こすことはない。

(ウ)について。**A is to B what C is to D**。「B に対する A の関係は、D に対する C の関係に同じ」という定まった構文の **what** 以下が文頭に出された形。

(カ)について。「～のうちの 1 つ」は **one of the** 複数名詞の形を取る。**the** と複数名詞の間に長い修飾語句が入っているため、非常に見抜きづらくなっている。

(ケ)**recently** や **lately** は、原則として現在時制では用いない。

以上のように、解答の選択にあたって悩まないものもみられるものの、全般的には平年どおりの難易度と考えられる。全問 1 つ 2 点で計算し、76 点ほどの得点が望まれる。